



小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

見どころは、その子なりの思いや願い

校長 佐久間 義久



10/7(土)に『きらきら光る』小川小大運動』を開催します。新型コロナウイルスが第5類に移行しましたので、どうぞご家族様みなさんでお越しください。感染がじわじわと拡大しているとの報道や、インフルエンザによる学級閉鎖が市内でも報告されているところではありますが、予防対策をしていただきながら、より多くの皆様から子ども達への熱いご声援をいただければ幸いです。

さて、多くの保護者様にとっても、運動会は記憶に残る行事の一つだったことと思います。小川小百年史を紐解いても「子どもたちが楽しみにしていることは、運動会 修学旅行、遠足」とあります。私も大好きでした。走るのは苦手だったので、1年生の徒競走では5等賞でしたが、リボンをもらって嬉しかった思いは鮮明です。3年生の時は体調不良を押して参加。「おっきい声が出ないなあ」と思ったことも覚えています。応援団リーダーとしての思い出と言えば、全校応援練習の時、腰に差しているはずの扇子がない!と思ったときの冷や汗です。ハプニングはより鮮明です。そして今の子ども達同様に、『ダブル優勝』も叫んだものです。もちろん、運動会に限らず一つ一つの行事にはその子なりの思いや願いをもって参加します。活躍したい。1位になりたい。上手に発表したい。役割をきちんとこなしたい。なんかあの雰囲気が好きなんだよなあ(これもあり)。家族の皆さんが、子どもたちが今まさに感じているであろう、そんな高揚感やら期待やら、同じように感じたことを団らんの話の一つにさせていただいたら、子ども達は目を輝かせて乗ってくること請け合いです。

本番まで1か月を切りました。依然として気掛かりは熱中症です。熱中症指数計に目を凝らしながら、練習を重ねる子ども達を支援していきたいと思います。



10/13(金)の10:40~11:25の日程で、『なかよしスマイルハート集会』を行います。これは、新潟県の人権啓発キャラバン隊の訪問に伴うもので、全校児童の人権意識の高揚を図るものです。左図は、令和4年度の人権キャラバンで完成した人権ハート(寄せ書き)です。小川小でもその1ピースを作成します。職員劇で、ソーシャルスキルを学ぶ場面もあり、見どころたくさんです。どうぞ、ご参観ください。

「竹あかりたてこしの夕べ」が開催されました

9月9日（土）の夜に「竹あかりたてこしの夕べ」が実施されました。今年で第6回になりますが、館腰地域まちづくり協議会が主催し、三面地域まちづくり協議会と小川小学校が共催で、実施しています。

日が暮れて竹灯籠に灯がともると、大変きれいな風景となりました。幻想的な雰囲気の中、今年もまた、5・6年生が「朝日三面川太鼓」を披露しました。竹あかりの中に浮かび上がる子どもたちの姿と、勇壮な太鼓の音で観客の皆様を魅了していました。天気も良く、たくさんの地域の皆様にお越しいただき、大変盛り上がりました。運営に携わってくださった皆様、ご来場の皆様、大変ありがとうございました。



運動会の練習に気持ちがい 盛り上がってきています！

10月7日（土）の運動会に向けて、準備が始まりました。各学年の種目に力が入ってきており、6年生のリーダーを中心に応援の練習も頑張っています。当日は赤組も白組も精一杯の姿を見せてくれることを期待しています。



「よさこい」の練習

「人権標語コンテスト」入賞

毎年、5・6年生が人権を大切にすることを考え、人権標語を応募しています。今年も子どもたちの素直な感性を生かした素敵な標語がたくさんできました。みんな温かい心をもって人と接することを忘れないでもらいたいです。

審査の結果、次の児童が入賞しました。おめでとうございます。

5年 松田 蒼愛さん

“あいさつは 勇気をくれる 合言葉”

5年 大田 想さん

“「ありがとう」その一言で 笑顔わく”